

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和4年度教育施策の柱である「スクールESDくさつ」「英語教育草津のStandard」「New草津型アクティブラーニング」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成する。

【学校 目標】

○主体的に、他者とともに学びを深め、学んだことを生活に生かそうとする。
○基礎的・基本的な学力の定着を図る。

【現状と課題】

○視点1 課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしているが、学んだことをまとめたりふり返ったりする意識に弱さが見られる。
○視点2 自分の考えや思いをもってはいるものの、相手と伝え合うことに課題が見られる。そのため、互いに思いやることや違いを認め合う学級づくりに取り組んでいる。
○視点3 チャレンジ15(放課後前学習)や総合学力調査に取り組んでいるが、全教職員の共通理解のもと、児童の学力の実態をとらえ、その向上に向けた取組をさらに行っていく必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○学習の見通しがもてる授業実践の積み上げと「まとめ」や「ふり返り」活動の定着 ○生活科や総合的な学習の時間を主に、学んだことを他者に伝える、発表することをより意識させた学習に取り組む。	【児童アンケート】学校の授業はわかりやすい→肯定的な回答:95%以上(そのうち強い肯定的回答:60%以上)		
	【児童アンケート(3年生以上)】「やってみ」(総合的な学習)を楽しみにしている→肯定的な回答:85%以上(そのうち強い肯定的回答:50%以上)		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○ペアやグループでの学習や活動を積極的に取り入れ、自己肯定感や自己有用感を高める。 ○生徒指導の3機能を生かした学級づくりの実践	【児童アンケート】自分にはよいところがある→肯定的な回答:83%以上(そのうち強い肯定的回答:50%以上)		
	【児童アンケート】先生は自分のよいところを認めてくれている→肯定的な回答:95%以上(そのうち強い肯定的回答:70%以上)		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○チャレンジ15(下校前学習)の取組により、基礎的な学力の定着を図る。 ○校内OJTの取組を充実させ、教職員一人一人の指導力向上を図る。	【教職員評価】「個に応じた指導により、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れている」の平均:3.7以上		
	【教職員評価】「自分なりの課題をもって自己研修に努めている」の平均:3.9以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

○4月の職員会議等で、校長や学ぶ力向上推進リーダーより、本校の「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組に対する具体的な内容について共通理解を図る。
○月に一度行う部会(学力・体力向上推進部会)において、それぞれの学年の取組状況を把握する。また、全国学力・学習状況調査や1回目評価の結果について協議し、改善すべき点をまとめる。
○職員会議で改善策を共有し、後半の取組につなげる。また、取組事項に対する中間評価結果を受けて向上策を見直し、ホームページ上に発信する。
・2回目評価や1月の学校評価をもとに、本年度の取組を総括するとともに、次年度の構想や取組を検討する。

今年度の取組の成果と課題

--